

科目区分：人間科学科目

授業科目名	生体の機能（生体機能）					学期	曜日	校時
英語名	Functional Physiology（Function of the Human Body）							
担当 教官名	瀬戸信二他	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	水曜日	校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>「生体機能」は、医学部臨床の呼吸器、血液、循環器の教官が分担して講義をしています。下記の授業計画で述べているように、生体機能を血液、呼吸機能、心臓の働き、血圧の項目から検討します。</p> <p>専門的にならないように話をなるべく分かりやすく講義する予定です。</p> <p>単なる物知りになるのではなく、生体の働きの不思議さに気づいてもらうとよいと考えます。教官はすべて医学部から講義に出てきますので、質問があれば講義終了後あるいは各講師の医学部所属講座に連絡してください。学生諸君の自主的な勉強に期待します。</p>								
テキスト、教材等								
<p>特に定めない。</p> <p>教科書は用いず、適宜プリント資料配付、スライド、ビデオを用いて講義を行う。</p>								
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
全学部	出席状況を考慮し、定期試験にて行う。							
授業計画								
<p>5人の教官が各項目を分担し講義します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 血液について講義する。血液細胞の産生秩序とその機能、その細胞の一生について分かりやすく解説する。 肺はガス交換を主な機能とする臓器であるが、内在する肺胞を守る機能も有している。ガス交換や換気力学などの呼吸機能検査や肺の感染防御機能について講義する。 心臓の重要な機能は循環器系中心にあって末梢からの血液を受け、再びそれを末梢の臓器組織に送り出すポンプ作用にある。この心臓の解剖と機能について講義する。 血圧について、血圧とはなにか？どのように調節されているのか？を解説し、さらに、生活習慣病であり、最も頻度の高い疾患の一つである高血圧について、その概念とともに日常生活の注意点など実際に役立つ治療法も含め分かりやすく講義する。 								

